

6月9日 木曜日
平成28年(2016年)

発行所 (株)印刷出版研究所
〒162-0041 東京都新宿区早稲田町巻町534川民ビル電話03(5151)7925
FAX:東京03(5151)7930・大阪06(6353)4944
〒530-0044 大阪市北区東天満2-9-4千代田ビル東館電話06(6353)4886
年間購読料18,500円(税込)(振替口座00120-4-47973番)

印刷新報

THE INSATSU SHIMPO

(木曜日発行) 第4579号 (昭和33年11月11日 第三種郵便物認可)

デジタル後加工に注目

「スマーリト化」の流れ如

取る「drupa2016」

drupa2016が5月31日、ドイツ・デュッセルドルフ見本市会場で開幕した。54カ国以上、1750社の規模となった今回は、インダストリー4.0の潮流を背景とする「プリント4.0」を焦点に、印刷産業の将来を指し示した。

最も注目された点は、有力メーカーのデジタル印刷機のほとんどに後加工ラインが接続され、印刷から最終加工までワンパス処理する数々のソリューションが提示されたこと。バリアブル印刷への対応はもちろん、最終仕上がり形態までもバリアブルで提供する。

また、従来型のコンベンショナルな印刷機については、LED搭載機が標準となりつつある。それも、LED-UV印刷に加え、インラインでのフォイル、エンボスなど



ASIAMIX プレートクリーナーECO 油性、UVの兼用で

ASIAMIX(東京都足立区)は、環境配慮型の刷版洗浄剤「プレートクリーナーECO」の販売を開始した。

新製品は、有機側・PRTRの法規制にともな非該当で油性とUV兼用タイプ。高感度インキにも対応し、PS版・CTP版の他、無処理版でも



プレートクリーナーECO

版取れを起こすことなく安心して使用が可能。版面のインキをすばやく除去し、汚れやキズを解消

する。使用は、水を絞ったスポンジに少量塗布し、版面を拭くのみ。そのまま印刷をスタートさせても問題ないが、版面を水拭きすると、損紙を減らすこともできる。

販売目標についてはエプソン販売の細川雅弘特販営業本部長が「エコンルベントインクの3機種は200台、水性顔料インクの2機種は500台」と掲げ、「2年間の無償保証期間を設けた。また、大判プリンター専用のソリューションを西新宿に開設し、実機をご覧いただき、アピールする場とする。この新商品でサイン・ポスターの製作現場を変えていきたい」と述べた。